

第6回 松江駅前デザイン会議 議事録

1 日時 令和6年12月27日(金)10時30分～11時30分

2 場所 松江市役所 第一常任委員会室

3 出席者

(1) 委員 (12名全員出席)

田部長右衛門会長

伊藤知恵委員

白水照之委員

吉川浩委員

桑垣宏二委員

今岡幸延委員

中尾禎仁委員

和田昇司委員

石本彰委員

鷗鶴侑委員

細田智久委員

松浦徹委員

(2) アドバイザー (オンライン形式での出席)

藻谷浩介アドバイザー

(3) 事務局

松江商工会議所まちづくり推進部 井原部長、樋野副部長、石倉まちづくりサポーター

松江市まちづくり部 永井政策監 陶山都市政策課長、道橋まちづくり推進室長

奈良井主幹、吉田副主任、柿田主任主事

4 次第

議題：「松江駅前デザイン」について

1. 会長挨拶

2. 松江駅前デザインについて

3. その他

5 会議資料

・資料1 「松江駅前デザイン体系整理表(案)」

・資料2 「松江駅前デザイン(案)」

6 事務局連絡先

松江商工会議所まちづくり推進部(電話0852-32-0504)

松江市まちづくり部都市政策課まちづくり推進室(電話0852-55-8118)

第6回 松江駅前デザイン会議 委員発言 議事録

| 発言者 | 議 事 |
|----------|--|
| 井原（事務局） | <p>只今から、第6回松江駅前デザイン会議を開催する。 開会にあたり田部会長より、ご挨拶申し上げる。</p> |
| 田部会長 | <p>皆さま本日はよろしく申し上げます。 年内最後の松江駅前デザイン会議を開始する。 松江駅前をどうしていこうかという議論は、有志の勉強会としてコロナ前から行っていたが、コロナで議論が立ち消えた。 一畑百貨店閉店を契機にデザイン会議が始まり、長崎にも視察に行き議論を重ねてきた。駅前の検討は注目度が高く、費用の算段も必要であり、より議論を深める必要がある。委員の皆さまから意見をいただき来年度も議論をしていきたい。</p> |
| 井原（事務局） | <p>本日は委員全員に出席いただいている。藻谷アドバイザーは、オンラインでの参加。また本日も公開会議として開催する。本日の資料は、資料1～2。これより議事に入るが、進行を田部会長にお願いする。</p> |
| 田部会長 | <p>それでは、皆さま、よろしく申し上げます。 まずは事務局より、前回会議を踏まえ、修正した松江駅前デザイン（案）について説明をお願いする。</p> |
| 道橋（事務局） | <p>前回会議から4点修正した。資料の赤字部が修正した箇所。 ・交通結節機能について、二次交通の多様化を「多様な交通モードの確保」という表現に、基本方針をより具体的な表現とするため「公共交通をつなぐ交通ターミナルの充実」という表現に整理・修正した。 ・交流・防災機能について、「安全に安心して」という表現を加えることで防災に関する視点を追加した。 ・都市環境形成機能について、南方向への導線づくりを追加した。 ・都市環境形成機能について、北東方向への導線づくりを追加した。</p> |
| 田部会長 | <p>修正案について議論する。 東西南北の導線について、南方向が入っていないという意見を聞くが、南側は民間の土地が多いため手が付けにくい。 北方向への導線をどのようにしていくか、交差点をどのあたりに整備するかなど、まだまだ議論が必要。 北方向へ誘う何かが必要。水の都松江を表現するために、水を使った何かを駅前広場や北方向への道路に整備してはどうか。私のイメージは噴水。ヨーロッパは町中に水を感じながら憩える空間が多く参考になるのではないか。</p> |
| 藻谷アドバイザー | <p>水が見える・水を感じられる方法として、水路を整備する場合は維持メンテナンス費用が高い。噴水は維持メンテナンス費用が水路に比べるとはるかに低く、実現可能な方法として良いアイデアだと思う。 各方向の導線については、具体的にどう整備するかという話ではなく、どの</p> |

ような方向性にしていきたいかが重要。現在の松江駅は、歩いて楽しいまちとしては発展途上。このデザインは、色々な方向に人が歩いて暮らす・楽しめる駅にしようというのが趣旨だと思う。歩いて暮らすライフスタイルの人はこれから増えてくるし、駅周辺で歩いて暮らしたいという需要は今後高まる。例えば、定年退職して都会から帰ってくる人など。

北東方向について、コンベンション機能に向かって橋を渡って歩くのは良いと思う。

大きな方向・長期的な方向として、歩いて楽しく暮らせるまちづくりはよいと思う。

田部会長

水路や噴水をたどると北方向へ誘われるなど、北方向に歩かせる何かが必要。街路樹の花壇スペースを活用するなど、できるだけ道路に影響しないようにする。街路樹・水・グリーンを使うのはヨーロッパではよくある。例えば、綺麗な噴水や花壇の写真を撮っていたら、気づいたら大橋川に辿り着き、そこにはいろいろな店舗があったなど。

ひとつ目はヨーロッパにある、渦ができる噴水。こういうものが松江駅前にあると良いと思う。ふたつ目は水の中に照明があり、植栽と水路を演出。光の導線が北側に誘われると良い。イルミネーションにもなり、高いところからも見える。夜も人が集まる。

藻谷アドバイザー

日本は水を活かしたライトアップが少ない。LEDができてからライトアップは電気代がかからなくなってきた。ライトアップは必ずしもエネルギーの無駄使いではない。市民の理解が得られれば、きれいなライトアップと水辺は若い人が集まったり、夕涼みをする場所として非常に良い。

白水委員

噴水の写真は、水との調和として松江らしさをイメージできる。松江らしさを強調するための大橋川との接点として、北方向への導線が大事であることをこの会議ですり合わせた。そうすると、北方向へ一直線で行ける導線が大切で、噴水を設置する場合も大きさやバランスに留意する必要がある。

細田委員

元々の案から導線の方向が増えて東西南北の全方向になった。この会議の発端は北側への導線。当初は、北側の現在バスが出入りする交差点に焦点が当たっていた。今回のデザイン案では、東西南北の矢印すべてが同じ色になっているが、北方向が一番優先度が高い。全方向同じニュアンスでは総花的になってしまう。

田部会長

矢印は東西南北が描かれているが、南方向は民間の土地が多く、どちらかというと西と北が重要と思う。

中尾委員

夜の演出も大事だと改めて感じた。光で演出して、多方面に導く。現在の松江駅は、駅に降り立ってどの方向に何があるのか分かりにくい。光の演出や地面のデザインも含めて、どの方向に何があるのかという導きがあれば来訪者に親切。

吉川委員

北方向への導線については白水委員に同意する。北東はスサノオマジックも

田部会長

あり、重要度は増していくと思うのでしっかり議論をする必要がある。

北東方向はすごく寒い。橋の道路勾配もきつい。

松江駅前、くにびき大橋、県庁、大手前、ケンタッキーの四角回遊ルートをぐるぐる回る二次交通や簡易交通あると良い。路面電車は道が狭くて難しいので、簡易交通で結んではどうか。

水のライトの色は、スサノオマジックの青や季節によって色を変えられると良い。夜は光、昼は水で魅せていく。

和田委員

この会議は、大きな方向性を議論する場であると認識している。

その中でまち全体の統一感も大切ではないか。

田部会長

色合いなど統一感を出したい。元々この会議で議論していた横断歩道を作ろうという話は、バス関係者や島根県、警察と協議が必要ではあるが、これまでの6回までの会議の大筋の方針としてこの案でまとめるのはどうか。

白水委員

資料2⑤バスターミナルの再編つまりテルサの撤去を含めた案について、市議会からもご意見をいただいている。皆さん駅前デザインについて真摯に考えていただきありがたい。2点意見がある。

・1点目、議論の経緯について。1. 松江らしさの演出のためには北側導線が非常に重要であり、北側導線の中央部分となる駅前広場整備のためにはスペースが必要。2. 駅前広場再編を検討する場合、現状のバスターミナルではターミナルに入れないバスが存在する。以上2点のポイントからやむを得ずターミナル再編を提案した。

・2点目のご提案だが、2つの案を出してもよいのではと思う。デザイン会議で重視した松江らしさを生む北導線①②④の考え方は変えずに、⑤バスターミナル再編についてのみ、再編と現状維持する2つのケースを提案しても良いと思っている。テルサを維持する場合、駅前広場のスペースが課題だが、広場を小さくするなど検討できなくはない。それぞれメリット、デメリットがあるので、何を優先するかという観点で、2案を作ることを提案したい。後々、市議会や関係者の皆さまにも議論いただくことになる。

中尾委員

このところ、白水委員のような意見をもっていた。より多面的な視点で見ることでも大事であり、別の案があっても良いと思う。

松浦委員

別案について、ご提案をいただいた。テルサの取り扱いについて議会、市民の皆さまから様々な意見を頂戴している。松江市としては、市民の皆さまはもちろん議会とも議論を重ねながら進めていきたい。次回会議以降、議会からの意見を情報共有したい。

田部会長

野津旅館や島根信用金庫前の簡易なバス停に停車している高速バスがあり、雨の日は濡れながら荷物を持って駅に移動する人の姿を見かける。国際文化観光都市のおもてなしとしてありえないと思う。バスのチケットは松江駅行きのはず。やはりバス停は、駅やバスターミナルの近くにあるべき。バスターミナルの再編の位置は、現在の案で固定ではない。引き続き、南側を工夫

- する、広場を調整するなど広く議論していきたい。
- 藻谷アドバイザー バスターミナルの件は、限られたスペースでも理想的な使い方を考えることができるので、使いやすく色々な会社が使えるようになってほしい。今後、歩いて暮らす人が増えるにつれ、より重要になる。
- 田部会長 第6回会議までの取りまとめとして、現行の案については資料1, 2を成案とする。
- 越年をして、引き続きバスターミナル、二次交通、駅前広場、北方向への導線などについてフレキシブルに検討していく。南側にもう少し官地があると良いが。
- 鷓鴣委員 スサノオマジックの試合の日、かなりの方が歩いていく。歩きたいのかバスがないのかわからないが。くにびき大橋を多くの方が歩いていたのが印象的。くにびきメッセでの催しがある日も歩いている人が多い。大橋川改修が進めば、より歩く人が増える。誰にでも分かりやすく利用しやすい駅になれば良いと思う。
- 伊藤委員 優先順位があると思うので、まず何をするのかが明確になれば良いと思う。個人的には、旧一畑百貨の建物をどうするかが優先ではないか。
- 車道、自転車道、歩道の境目が分かりにくいので、色や素材で分けられると良い。
- バスターミナルについては、一箇所にまとめるのが難しいのであれば、複合ビルの1階や立体駐車場を利用して、第1ターミナル第2ターミナルと分けることもできるのではないか。
- 田部会長 旧一畑百貨店は民間開発になるので、引き続きこの会議とは別で協議はしていきたい。
- 細田委員 伊藤委員の言われたように第2バスターミナルが確保できれば、デザインが明確化すると思う。用地の問題があるとは思いますが、北側の交差点の向こう側にあっても良いのでは。北方向にまっすぐ行くための横断歩道は、北東方向の導線づくりにも寄与するため非常に重要。
- 中尾委員 田部会長が言われた環状ループは自分も同様の意見をずっと持っていた。松江城、行政庁、観光拠点などを結ぶとあの環状線になる。自動運転バスをあのルートに走らせると、地元の方にも観光客にも良い。ミニマムな交通手段が注目されており、実際に使われている。松江駅周辺は長崎駅のように広くはないが、交通を工夫することで松江の価値が高まるはず。
- 今岡委員 何が優先か、玄関口である松江駅の交通結節機能を念頭に置くべき。二次交通を含めた交通結節機能の維持・強化について議論を深めたい。
- 田部会長 ⑤バスターミナルの再編については、年明けに引き続き議論を深める。
- 大筋この案でまとめることを委員の皆さま同意いただけるということで、バスターミナルについては別案をまとめる。
- 藻谷アドバイザーにまとめのコメントをお願いする。

| | |
|----------|---|
| 藻谷アドバイザー | <p>この会議では、住民の皆さんがよく考えている。この考えを実現していけば良い計画ができると思う。公共交通に関心がない人や車があれば良いと思う人はたくさんいるが、歩く人がまちをつくっていく。車が便利だとまちそのものがなくなるし、車を使わない人には不便なまちになってしまう。長い歴史があるまちにとって、ライトアップでまちが綺麗になっていくのは良いと思う。</p> |
| 田部会長 | <p>次回以降、別案について議論する。</p> <p>松江駅前デザインの今回取りまとめたもの、次回以降で議論を行う別案については、松江駅前に備えるべき機能などを含め、あくまでも将来像、方向性を定めるもの。その具体化・具現化に向かって、様々な段階を経て進んでいくもの。その検討のベースとなるものが松江駅前デザインであり、それを作成するのがデザイン会議の役割。そのような理解のもとで、今後も議論を深めていきたいのでよろしくお願いします。</p> <p>本日予定していた議事は以上。進行を事務局へお返しする。</p> |
| 井原（事務局） | <p>ご議論頂き有難うございました。</p> <p>デザインの別案について、次回意見交換をする。次回第7回会議は年明けとし、開催時期については事務局から今後日程調整をする。</p> <p>以上で、第6回松江駅前デザイン会議を終了する。</p> |